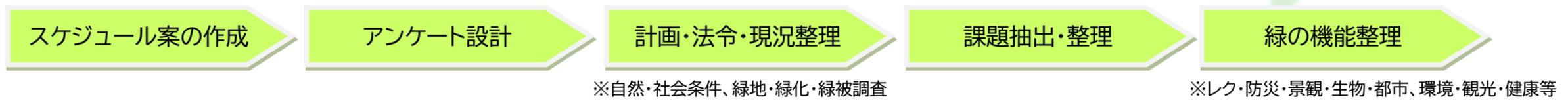


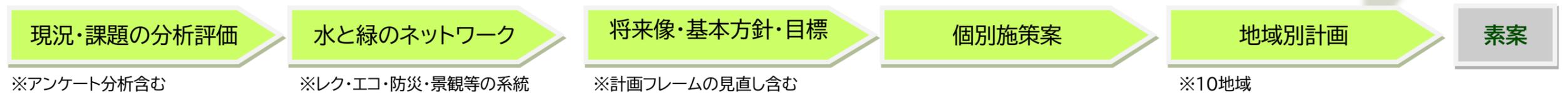
緑化推進委員会 (R6~)



事務局



緑の基本計画改定委員会 (R7~)



1. 現況調査



緑被分布図全体図(首都圏)

図1 緑被率調査の例
(国土交通省HPより抜粋)

緑の量や分布を調査します。また、緑がどのように増えたり、減ったりしているのか、まちの様子と合わせて確認していきます(目標値チェック含む)。

【Point】 アンケート調査を行い、緑に関する満足度なども把握します。



2. 課題抽出・整理

安全・安心
防災に貢献すべき!
民間の協力は?
景観!
地球温暖化の対応は?
健康?
私たちにできることは?

緑を増やすには、どうしたらいいのかしら?



3. 現況・課題の分析評価

緑の量、質、配置・ネットワーク、機能などの充足度、緑地保全の必要性・緊急性、緑化の必要性・可能性等を分析します。

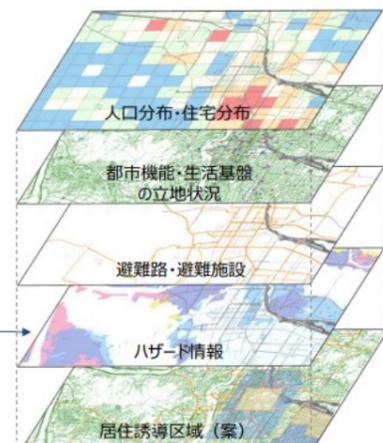


図2 都市情報の重ね合せ(立地適正化計画作成の手引きより抜粋)

4. 水と緑のネットワーク

緑地の配置等を検討します。ネットワーク等の分析結果から、緑が不足している地域への対応方針、整備方針、管理方針等を定めます。

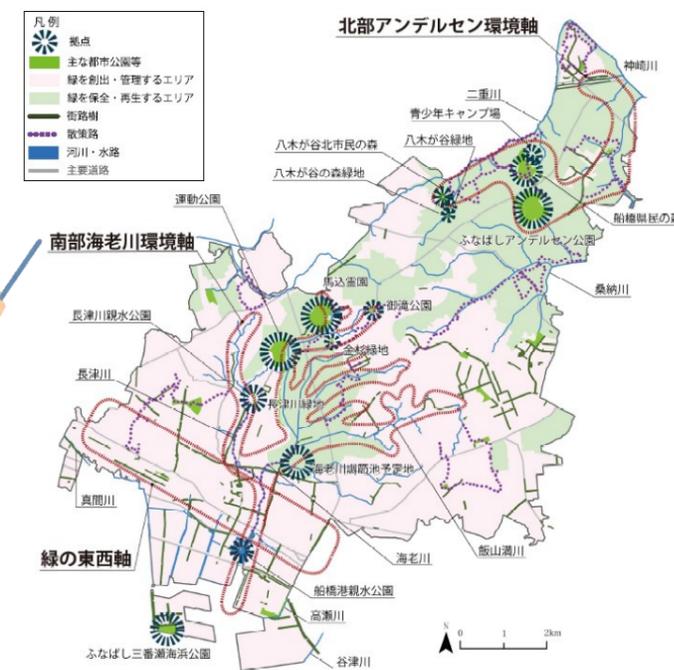
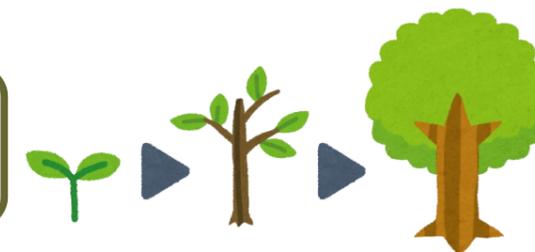


図3 現行計画の水と緑のネットワーク
(船橋市緑の基本計画改定第2版より抜粋)

5. 基本方針・目標

【Point】 計画フレームを見直し、アウトプット・アウトカム指標を確認します。



6. 個別施策

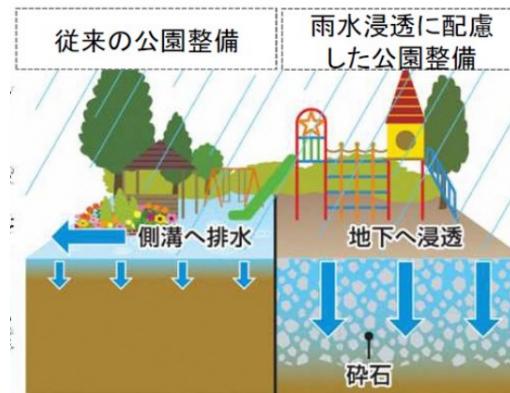


図4 雨水浸透に配慮した公園
(国交省HPより抜粋)

【Point】 近年では、ネイチャーポジティブ※1を背景にNbS※2、グリーンインフラ等に注目が集まっています。また、市民緑地など官民連携による事業も全国で盛んに行われています。

7. 地域別計画

地域の特性等に応じ、10の地域に区分し、地域ごとに詳細かつ具体的な計画を検討します。

8. 素案

1~7をもとに素案を作成します。



図5 南船橋駅南口の市民緑地(市HPより抜粋)

※1 ネイチャーポジティブ(自然再興):生物多様性の損失を止め回復軌道に乗せること
※2 NbS(Nature-based Solutions):自然の力で社会問題を解決するための行動